

令和6年10月30日

釜石市議会議長 千葉 栄 様

釜石市議会議会改革特別委員会
理事 井筒 健太郎

行政視察報告書

議会改革特別委員会による行政視察を下記の通り実施しましたので、ご報告致します。

記

1. 日時 令和6年10月3日（木）13時30分～15時
2. 場所 一関市議会（議員全員協議会室）
3. 出席者 釜石市議会議会改革特別委員会理事会7名
古川愛明委員長 遠藤幸徳副委員長 菊池秀明理事 野田忠幸理事
三浦一泰理事 山崎長栄理事 井筒健太郎
相手方 一関市議会4名
勝浦伸行議長 佐藤浩議会運営委員長 三浦事務局長 熊谷事務局次長
4. 視察内容

記

予め下記3点について質問事項を作成し、一関市議会に送付し、ご教示いただいた。

- (1) 一関市議会における議会改革について、現在取り組んでいる内容と、その実現に向けた課題をご教示下さい。
- (2) 議員報酬引き上げに係る議論の経過についてご教示下さい。また、引き上げ額の算定根拠、市民に対する説明の方法等についてもお聞かせ下さい。
- (3) 「一関市議会議員政治倫理条例」制定時の経緯と、今抱えている課題がありましたらご教示下さい。

(1) について

① 議会だよりのリニューアルについて

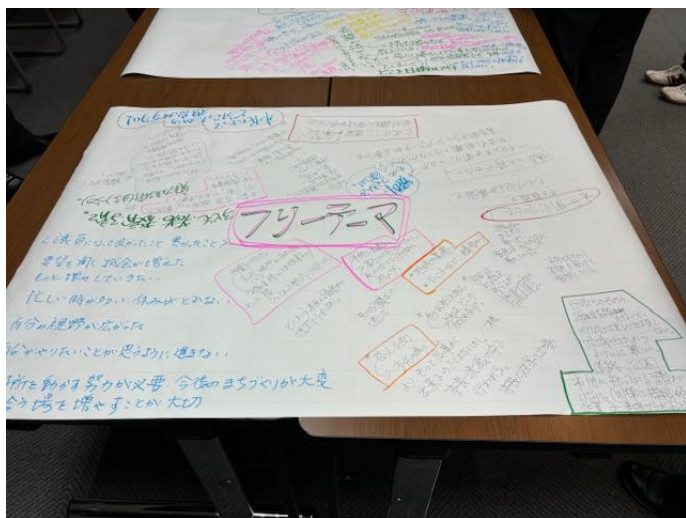
議会として特に力を入れているのが議会だよりで、この度市民の皆さんに手に取ってもらうことをテーマに大幅にリニューアルした。市民の皆さんからの評判も良い。



※表紙の写真を止めイラストに変更した他、内容も見やすくリニューアルした議会だよりの

② 議会モニターとの直接対話

一関市議会モニターについては、令和3年度から導入している。モニターについては、議会や委員会を傍聴してもらい、意見をいただいている。その意見を議会改革に生かしている。また、ワークショップ形式の意見交換会も実施している。



※市民と議会とのワークショップの成果

③大学への研究依頼及び協働

岩手大学で実施している地域課題解決プログラムに応募し、「地方議会の議員活動の見える化」「議員のなり手確保」について研究を行った。議員と学生とのオンラインでの意見交換会の実施や大学生対象のアンケート調査などを実施している。

④市民との懇談会の実施

市民と議員との懇談会について、議会基本条例に基づき実施している。グループごとに議員が司会役（ファシリテータ）として入り、意見を共有しながら討議する。

（2）について

平成30年10月から令和3年7月まで、議会運営委員会の中で計8回、他の市議会の事例や議員の活動量調査及び各会派内での意見の取りまとめを行った。しかしながら、コロナの影響で一時引き上げを見送った。

その後、議長名で市長に対して特別職報酬等審議会の開催を申し入れ、委員12名で構成された審議会を実施した。その中で、平成23年から令和元年までの市民の所得の上昇率が約13%ということで、議員の報酬13%程度引き上げが良いのではないかという最終答申をもらった。

議員報酬の引き上げに関して、市民との懇談会の中で説明したが、市民からはほとんど苦情がこなかった。

勝浦議長からは、議員の年金制度も廃止され、退職金も無い状況で、議員のなり手がなくなるのも当然だと考える。自分たちのためではなく、次に議員になろうと考えている方のために、厚生年金への加入や議員報酬の引き上げに関して議論していただければありがたいと思う、という話があった。

（3）について

一関市議会政治倫理条例は平成19年に議員発議により、全会一致で可決している。

運用に関しては、特段課題はないと考えている。

兼業については、議員になる時にどこの理事や役員をやっているという報告をする程度で、今のところ問題になっているところはない。

また、政治倫理条例もそうだが、まずは議員の資質を上げるということに尽きると考えている。



※一関市議会訪問の様子

所感

今回の一関市議会の議会改革の取組の中で、特に力を入れてきたのが広聴広報で、中でも「議会だより」だと伺った。手に取ってもらえる見てもらえる「議会だより」にすることを念頭にリニューアルし、議会の動きも分かりやすく市民に伝わり、さらに市民からの評判も良く、マニフェスト大賞でも優秀賞を受賞するなど、一関市議会の議会改革に対する本気度が伺えた。当市における「議会だより」においても、市民目線で手に取りやすい、読みやすい「議会だより」にしていく必要性を強く感じたところである。さらに議会としての情報発信の方法を議論する必要があると考えている。

当市議会の議会改革特別委員会で進めている議員報酬や議員定数の見直し、市民と語る会、また釜石市議会政治倫理規定についても、大変参考になる事例や意見を多数いただいた。報酬と定数は別で考えたほうがよいこと、市民と語る会については必ずフィードバックし、各常任委員会に振り分けホームページ上で回答を出すことなど、具体的に例示していただいた。これを踏まえ今後の当市での議会改革に繋げていきたいと考えている。

以上